NIE実践報告

1．タイトル：思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動を充実させた学習指導～新聞を活用し

2．学校名

栃木県那須烏山市立江川小学校

3．実践者名（代表者名）

平野　康男

4．学年

第６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・２３名

6．単元（本時の学習課題）名

自分の考えを明確に伝えよう

7．目標(狙い)

自分の意見が明確に伝わる文章を書くことができる。

8．評価の視点

「平和」をめぐる自分の意見が説得力をもつように具体例や新聞資料を集め、意見を明確に伝えるために文章全体の構成を考えて書くことができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

単元名「自分の考えを明確に伝えよう」教材名「平和」について考える。
（14時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(単元計画)
①教材文「平和のとりでを築く」を読み、学習課題を設定し、学習計画を立てる。(2時間)
②意見文をもとに、自分の意見を書いたり、意見を主張したりする。（7時間）
③話し手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案をする。(5時間)
（留意点）
①論拠が確かで明確な意見をもった文章である「新聞記事」を活用することで、より説得力のある意見文となるようにした。
②意見文に引用する「新聞記事」を集めるに際しては、各自の意見文に本当に説得力をもたせることのできる資料なのかを、グループで吟味するようにした。
③意見文の書き方に慣れるように、文章の構成を意識させた上で構成メモを作成し、意見文へと内容をふくらませて書く活動を取り入れた。
④意見交換をしながら文章を加筆、修正させ、相手意識をもってより説得力のある発表ができるようにした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

平和に対する自分の論旨を決める段階では、作文に苦手意識をもってた児童が多かったが、新聞資料の洗い出しや構成メモ作成を経て、夢中で意見文を書き進める姿が見られた。意見文に新聞記事を引用するという経験も書く意欲を高めていた。授業後、書くことが楽しいと答えた児童が多かった。

12．成果と課題

〇教科書の意見文例の構成に従うとともに、構成メモから文章を膨らませることで、迷うことなく書き進めることができた。
〇各自の意見文に合った新聞記事の資料を見つけ引用することで、意見文全体の流れに気を配り論旨を外さないことの大切さを、学ぶことができた。
〇新聞を身近なものとしてとらえ、読みたい意欲が高まった。
●一般向け新聞の場合、読めない漢字や難しい言葉が多く、読み取るのに時間を要してしまう。